
令和 5 年 度
事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人 育 美 会
貴 精 保 育 園

令和5年度事業報告

ひとりひとりの思いを大切に考え対応していく保育を行いました。

法人職員とも連携を密にし、保育園同士では都度、情報交換をして運営しました。

1. 家庭との連携

新型コロナが5類になったという事で、家族が感染しても本人に症状がなければ登園可能など対応が変わってきているため、混乱しないように都度、職員同士で確認して、きちんと対応できるよう心掛けました。

問題を抱えている家庭に対しては担任だけでなく、場合によっては園長や主任が話を聞いたり行政に相談しながら対応しました。

2. 保育について

ひとりひとりの思いを大切に保育を実践していくため、子ども達のがのびのびと生活できるように皆で協力して保育を行いました。

全職員で発達障害を持つ子どもの特性を理解し、スムーズに保育が行えるように協力しました。

食育では4歳児、5歳児が中心になり園庭で野菜を育てたり野菜の皮むきなどを感染防止に気を付けながら行いました。

少しずつ行事が増えてきましたが、子ども達の経験不足から難しいことも増えてきました。

色々な経験を通じて成長できるように工夫して保育を行いました。

今年度も法人内での交流ができませんでしたが、来年以降、交流ができるように準備をすすめました。

3. 健康、安全管理について

出入口の消毒液設置や園児の検温は引き続き継続しました。

新型コロナが流行ることはありませんでしたが、年間通して感染する子や職員が数名いました。

2月にはインフルエンザが流行ってしまい、月間で園児、職員合わせて23人の感染者が出てしまいました。

4. 併用事業

一時保育は年間で、延べ101人の利用者を受け入れ各年令のクラスと一緒に楽しく生活しました。

つどいの広場は、今年度から人数の制限はせず開室しました。また、利用者からの相談を受けたり地域の子育ての援助も行いました。

つどいの広場は、今年度も川越市在住の出演者のコンサートや講師として招いて講座を開いたり地域支援を行いました。

5. 防災管理について

緊急災害の対策としての避難訓練を毎月行い、時間帯、内容、方法に変化をつけて実施しました。1月に北陸で大きな地震があり、その後も各地で頻繁に地震が起きているので、改めて園での対策を考えなければいけないと思い、研修を受ける機会を設けて園での備えや避難の方法など職員会議で話し合いを行いました。

6. 備品購入について

- ・備品購入…ポータブルバッテリー
- ・保育材料…パネルシアター、手袋シアター